

NUBIC知的財産情報開示

開示日: 2003年12月15日

各位

NUBIC知的財産情報の要約をお届けいたします。
尚、NUBICベンチャークラブ特別会員、一般会員にはすでにお知らせしています。

	NUBIC管理番号: <input type="text" value="2001000077"/> 整理番号 <input type="text" value="10235"/> 担当者 <input type="text" value="齋藤 光史"/>
表 題	ガラス繊維強化フェノールフォーム複合材料の引抜成形法
技術分野	<input type="text" value="有機材料"/> <input type="text" value="機械・加工"/> <input type="text" value="構造部材"/>
適応製品	人工木材, 耐熱用FRP, 船舶・車両用構造部材
目 的	耐熱性, 難燃性, 低発煙性等の特性を持つフェノール樹脂を用い, さらにフェノール樹脂を発泡させ, ガラスの連続繊維と一緒に引抜法で成形したフェノールフォーム複合材料は, フォーム材の利点もあわせ持ち, 軽量で衝撃吸収, 断熱性に優れ, 熱・炎に強い新素材として, 軽量性, 安全性の求められる建築, 車両, 船舶, 航空機などの構造材分野への応用が期待できる。さらに, 本フェノールフォーム複合材料は, 従来のフォーム材と異なって木材のように釘での接合も可能な材料である。
技術概要	本発明は, 母材としてフェノール樹脂を採用し, その発泡体とガラス繊維による複合材料の引抜成形法を提供する。 フェノール樹脂は, 不飽和ポリエステルなどと比較して粘度が高く, ガラス繊維への含浸性に劣り, 反応時に水蒸気を発生する等の問題があるので, 熱可塑性ではあるがノボラック型フェノール樹脂を用いて短繊維FRPの小さな部品は, 射出成形法によって製造されている。本発明では, 母材が発泡剤を含んだ熱硬化性のフェノール樹脂であることから, 引抜法で, 断面形状が大きく, 連続繊維を用いたFRTPの成形が可能であり, 硬化時に水蒸気によるボイドの発生も気にせずすむ, 耐熱・難燃性のFRP構造部材を開発した。

技術移転等をご希望の場合は, 下記事項をご記入の上, 本用紙にてお申込みください。

(FAX, e-mail, 郵送いずれでも可。)

各担当コーディネーターからご連絡を申し上げます。

面談希望日時	<input type="text"/>		
(ふりがな) 氏 名	<input type="text"/>		
会社名	<input type="text"/>		
所 属	<input type="text"/>	役職	<input type="text"/>
電話番号	<input type="text"/>	FAX番号	<input type="text"/>
E-mail	<input type="text"/>		
連絡事項	<input type="text"/>		

【 申込み・問い合わせ先 】

日本大学産官学連携知財センター (NUBIC)

〒102-8275 東京都千代田区九段南4 - 8 - 24 日本学会館

TEL: 03-5275-8139 FAX: 03-5275-8328 e-mail: nubic@adm.nihon-u.ac.jp

